

命令

午前九時三十分迄ニ友軍砲兵射撃ヲ以テ制壓射撃ヲ行フ
 大隊ハ砲兵射撃ニ連繫シテ各重火器ヲ最前線ニ出シ敵重火器
 ヲ求メテ制壓射撃ヲ行ハシムルト共ニ其効果ヲ待ツテ敵重火器ニ
 八名ヨリナル斥候ニ組ヲ出シ突撃ヲ敢行セシムヘシ右決死斥
 候八名中五名ハ手榴彈ヲ携行セシムヘシ
 尚後刻決死斥候員ノ氏名ヲ速ニ報告スヘシ
 之ニ對シ第二大隊長代理矢崎大尉謹シテ拝命ノ旨答ヘ其機ヲ待ツ
 一午前九時第一大隊ニ對シ北家橋宅方面ニ對シ威力偵察ヲ命ス
 其結果末夕不明
 一午前十時十分第三大隊長代理ヨリ左記報告ニ接ス
 只今小宅新陸宅敵陣地ニ對シ友軍飛行機爆撃中ニシテ敵陣
 地上ニ命中シアリ

一 午前十時五十分旅團ヨリ左記通報アリ

左記

午前十一時三十分新陸宅老陸宅中間ニ敵重機關銃、銃巢アルヲ以テ輕爆撃機ヲ以テ爆撃ヲ行フ

右第二大隊ニ通報ス

一 午前十一時三十分配屬山砲隊ヨリ北家橋宅西方清水顧西南方無名部落金家宅東方地區ヲ射撃中ナルノ通知ニ接ス

一 正午ニ至ルモ第二大隊ハ突撃實行ニ移ラサルヲ以テ聯隊長ハ更ニ次ノ命令ヲ下達ス

當時電話故障ノタメ傳令ヲシテ傳達セシム

命令

第二大隊ハ直ニ突撃前進スヘシ

聯隊長

第二大隊長代理矢崎大尉右命令ニ接スルヤ
拜命ス 既ニ攻撃前進シツツアリ

一 午後一時三十分第二第三大隊ハ前日ニ引續キ夫々所命ノ敵陣
地ニ對シ突撃ヲ敢行スルヤ老陸宅西南方及新陸宅東端清水
顧西南端ヨリ猛烈ナル十字火ヲ受ケ第五第六中隊ノ如キハ
相當ノ損害ヲ蒙ルト共ニ大隊長代理矢崎大尉又先頭ニ立ちテ
突撃ヲ激勵中敵彈命中ニ名譽ノ戰死ヲ遂ク
突撃遂ヒニ不成功ニ終ル

一 午後三時十五分旅團ヨリ左記要旨ノ通報アリ

左記

花家橋宅西北方無名部落ノ敵迫撃砲ハ友軍砲兵之ヲ撲滅セリ
一 午後三時三十分左記聯隊命令ヲ下達ス

「歩一二六作命第三一號」

聯隊命令

十月二十八日午後三時三十分
於 魔 橋 頭

1. 聯隊當面ノ敵ハ堅固ナル陣地ニ據リ頑強ニ抵抗シツツアリ
聯隊ハ奮戦力闘シタルモ未夕敵陣地ヲ奪取スルニ至ラス攻撃
ヲ中止セリ

2. 聯隊ハ清水顧新陸宅東北側ノ線ヲ確保シ速ニ兵力ヲ集結
シ戦力ヲ回復シ爾後ノ戦闘ヲ準備セントス

3. 第一線兩大隊ハ現陣地ヲ確保シ敵情地形ヲ搜索シ對壕作
業ニ依リ敵陣地ニ迫リ突撃ヲ準備スヘシ

4. 兩大隊ノ搜索警戒地域ノ境界ハ孟家宅南端小宅西方無
名部落ノ南端ヲ連ナル線トス

5. JA中隊ハ清水顧東端附近ニ位置シ主トシテ左大隊ノ戦闘ニ
協力シ得ル如ク準備シ待機ノ姿勢ニアルヘシ

6. RMGハ兩大隊ノ中間地區ニ在リテ主トシテ右大隊ノ戦闘ニ協力シ

得ル如ク準備スヘシ

7. RIAハ五家宅西側附近ニ在リテ右大隊ノ戦闘ニ協力シ得ル如ク

準備スヘシ待機ノ姿勢ニアルヘシ

8. 工兵隊ハ各一小隊ヲ以テ第一線兩大隊ニ協力セシムヘシ

9. 第一大隊ハ朱三房ニアリテ豫備隊トナルヘシ

第三中隊ヲ聯隊本部ニ差出シ直接警戒ニ任セシムヘシ

10. 余ハ魔橋頭ニアリ

聯 隊 長 添 田 大 佐

次テ午後六時三十分左記諸官ヲ本部聯隊長ノ許ニ召集シ各
隊現在ノ情況ヲ聴取スルト共ニ聯隊長ノ意圖ヲ授ケ激勵ス

左 記

RIA	I	副官	II	副官	III	長代理	IA	長
長			長					
			長					

一 午前零時三十分左翼命令ニ接ス

歩二六旅作命第二〇號

左翼隊命令

十月二十八日午後十一時三十分
陸 家 宅

1. 師團、企圖師團命令、如シ

2. 左翼隊ハ明二十九日攻撃ヲ續行シ新陸宅、敵陣地ヲ攻略セ

ントス砲兵隊、主力及重爆撃機ハ左翼隊、攻撃手ニ協力ス

3. 歩兵第百十六聯隊ハ其一部ヲ以テ新陸宅、敵陣地ヲ攻略スヘシ

突撃開始、時機ハ午後一時トス

山砲兵第一大隊ヲ配屬ス

4. 歩兵第五十八聯隊第三大隊（第十三中隊ト第十一中隊ノ二小隊欠）

ハ前任務ヲ續行スヘシ

5. 砲兵隊ト、協定事項別紙、如シ

6. 豫備隊タル第十三中隊ハ依然現位置ニ在リテ前任務ヲ續行スヘシ

爾餘ハ現位置ニアルヘシ

7. 余ハ陸家宅ニ在リ

左翼隊長

沼田少將

明クレハ十月二十九日敵ハ依然トシテ頑強ナル抵抗ヲ續ク
午前七時左翼隊命令ニ基キ左記聯隊命令ヲ下達ス

歩二六作命第三ニ號

聯隊命令

十月二十九日午前七時
於 鷹 橋 頭

1. 敵情ハ知ル通リ

師團砲兵ノ主力重爆撃機ハ左翼隊ノ主力ト協カスヘシ

2. 聯隊ハ一部ヲ以テ新陸宅ノ敵陣地ヲ奪取シ小宅南端ノ

線ニ進出セントス

3. 第一大隊長左記部隊ヲ指揮シ新陸宅及清水顧西側機關

銃臺ヲ奪取スヘシ

配屬部隊左、如シ

第一大隊(第三中隊欠)第三大隊聯隊機關銃步兵砲 $\frac{1}{2}$ 工兵

4. 主力ハ決死突撃隊五十名ヲ組織シ新陸宅東側ヨリ至近

ノ距離ニ準備ヲ完了シ左大隊ト連絡シ敵陣地ヲ奪取スヘシ

5. 突撃開始時刻ハ午後二時トス

6. 砲兵射撃及飛行機ノ爆撃ニ就テハ別ニ示ス

7. 余ハ鷹橋頭ニ在リ戦鬪進捗ニ伴ヒ孟家宅ニ至ル

聯隊長 添田大佐

尚攻撃ノ夕ノ砲兵ノ火力ヲ配置左ノ如ク定ム

重砲 244 一中隊 新陸宅西南端

特ニ同部落栗南村淵ヲ射撃

重砲 12H 一中隊 新陸宅ト新陸宅ノ中央高臺ノ重機ニ對シ

山砲 二中隊 孟家瀨宅ト新陸宅間敵陣地ニ對シ

山 砲 一中隊 莊家橋宅 西北方約二百米無名部

飛行機ハ新陸宅ニ對シ爆撃ヲ行フ

射撃時間

午前十時ヨリ射撃開始 突撃時迄精密射撃ヲ行フ

午後零時三十分ヨリ五分集中射撃

續テ十分間 要點ニ對シ破壊射撃

續テ五分間 集中射撃

續テ七分間 要點ニ對シ破壊射撃

續テ三分間

續テ突入

一 各大隊ハ協力砲兵並ニ飛行機ノ爆撃ノ効果ヲ待ツテ突撃ヲ敢行ノ諸準備ヲ整ヒ時機ノ至ルヲ待ツ

午後一時各砲撃止ムヤ右第二大隊ハ没死隊長小林豊雄少尉

三二

一隊ハ敢然新陸宅東端ノ敵陣地ニ突撃ヲ敢行シタルモ鐵
 條網前ニ於テ大部分損傷ヲ受ケ空シク不成功ニ終ルヲ遺憾トス
 第一第三大隊方面ハ意外ニ砲爆撃ノ効果少ナク機熟セサル
 夕ノ突撃ヲ實行ニ移ラス不成功ニ終ル

午後二時十五分聯隊豫備隊タル第三中隊(小隊欠)ヲ新夕ニ
 第一大隊ニ増加セリ

一 午後二時四十分聯隊副官佐藤少尉ヲ第二大隊本部ニ差遣シ
 左記聯隊長ノ命令ヲ傳達セシムルト共ニ敵情ヲ偵察セシム

命令要旨

第二大隊ハ聯隊ノ任務達成上ニ死カヲ盡シ本夜夜襲ヲ以テ必
 ス新陸宅敵陣地ヲ奪取スヘシ

聯隊副官佐藤少尉ハ右命令ヲ第二大隊長代理小杉中尉ニ
 傳達スルト共ニ第二大隊正副ノ敵情ヲ聴取シ尚自ラ敵情ヲ偵

察シ左記狀況ニ付報告ス

報 告

新陸宅東端 老陸宅西南端ニハ處々ニ堅固ナル掩蓋アリ其銃眼
ハ殆ト地平線ト齊シクシテ近接セサレハ目視困難ニシテ極メテ
巧妙ニ構築シ爆撃及砲撃ニハ損害少ク現ニ猛烈ニ射撃シアリ
一午後六時第一次隊長ヨリ左記ノ件ニ付具申シ來ル

左 記

諸ノ下候ノ報告ヲ綜合スルニ敵情複雑ノ多ノ不明ナルヲ以テ突
撃ヲ諸準備ニ今一日間延期セラレ度旨申出アリ

依テ聯隊長ハ大隊長ニ對シ一日延期セハ敵陣地奪取ノ見込アリ
ヤト大隊長ノ決心ヲ質シタルニ必ス陣地奪取ノ見込アリトノ確答ニ
接シタルヲ以テ之ヲ許容シ其旨旅團ヘ具申ス

一 本日セ又日没以後新陸宅東北角及東端小宅北家橋宅方向

ヨリ猛烈ナル射撃ヲ受ケタルモ第一線大隊ハ戦力ヲ回復ニ努ムル
ト共ニ専ラ戦鬪準備ヲ整フ

一本夜左記右翼隊命令ニ接ス

歩二六旅作命第一一號

左 翼 隊 命 令

十月二十九日午後十一時
於 陸 家 宅

ノ友軍ノ状況並師團ノ企圖師團命令ノ如シ

ニ方翼隊ハ現在ノ線ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

歩兵第五十八聯隊第一第三大隊欠ノ余ノ隷下ニ復セシメラル

歩兵第百十六聯隊二三大隊欠山砲兵第一大隊及工兵中隊

ノ配屬ヲ解クハ現在地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

其第三大隊ハ明三丁目正平道ニ回都附近ニ集結シ師團ノ直轄ヲ

ラシムヘシ

歩兵第五十八聯隊第三大隊(第十二中隊ト第十中隊ノ一小隊欠)ハ

- 步兵第百十六聯隊、左翼ニ連繫シ須宅西方無名部落
 (燒跡)ヨリ須宅ニ亘ル間ヲ守備シ爾後、攻撃ヲ準備スヘシ
- 5 兩部隊ノ戰鬥地境ハ原ノ如シ
- 6 山砲兵第一大隊ハ現在地ニ在リテ爾後、攻撃ヲ準備スヘシ
- 7 歩兵第五十八聯隊(第一第三大隊々)ハ依然現在地ニ在リテ
 後命ヲ待ツヘシ
- 8 工兵中隊(三小隊々)ハ爾後豫備隊トス
- 9 豫備隊ハ陸家宅ニ位置スヘシ
- 10 余ハ現在地ニ在リ

左翼隊長

沼田少將

右左翼隊命令ニ依リ聯隊ハ同夜直ニ電話ヲ以テ左記要
 旨ノ命令ヲ下達ス

命令要旨

0778

第二大隊ハ現在確保セル陣地ヲ第一大隊ト交代シ明拂曉迄ニ撤退シ正午迄ニ田都ニ至リ師團ノ直轄トナルヘシ

右命令ニ基キ三十日午前九時頃交代終了田都ニ向ヒ出發ス

一 第一大隊ハ既定計畫ニ基キ午前十時ヨリ新陸宅ノ敵ニ對シ威力搜索ヲ實施セル結果左記報告ニ接ス

陣地ニハ處々ニ銃坐築設シ全部機關銃ヲ收容セルモノニアラスシテ轉々移動シテ射撃スルモノノ如シ大隊正面ニハ現在六銃アルモノノ如ク威力搜索スルヤ只一時其間應射スルノ狀況ナリ又陣地前ニハ輕易ナル鐵條網ヲ構築シアリ

第三大隊方面ノ狀況

ノ清水顧西側ニ機關銃巢アリテ鐵條網ヲ構築シ嚴ニ守備シアリ

2. 小宅正面ニモ鐵條網ヲ構築セル陣地アリ

未夕聯隊正面ノ敵ハ退却ノ徴ナシ

3. 右情況ヲ直チニ旅團ニ報告セリ

次テ午前八時三十分左記要旨ノ命令ニ接ス

左翼隊命令

十月三十日午前八時三十分
陸家宅

1. 師團當面ノ敵ハ昨夜來全正面ニ亘リ從來ノ慣例ヲ破リ全ク

靜蕭ニ歸ス

2. 旅團ハ威力搜索ヲ以テ敵情ヲ搜索セトス

3. 歩兵第百十六聯隊歩兵第五十八聯隊第三大隊ハ直チニ威力

搜索ノ夕ニ態勢ヲ整ヘ砲撃ニ連繫シ威力搜索ヲ實施スヘシ

特ニ敵情ヲ考察シ戰機捕捉シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

4. 砲兵隊ハ兩第一線部隊ノ威力搜索ニ協カスヘシ

左翼隊長 沼田少將

歩二六作命第三八號

聯 隊 命 令

十月三十日午後五時
於 魔 橋 頭

1. 敵情變化ナシ步兵第五十八聯隊ハ陳家行方面ヨリ攻撃スル旨
 2. 聯隊(第二大隊欠)ハ右第一線トナリ酸浦ヲクリクヨリ新陸宅東
 端清水顧西端ヲ經テ須宅西端ニ亘ル間ヲ堅固ニ台領シ前
 面ノ敵情地形ヲ搜索シ爾後ノ戦闘ヲ準備スルト共ニ機ヲ見テ
 敵陣地ヲ奪取セントス

3. 第一大隊(一小隊欠)ハ右第一線トナリ依然前任務ヲ續行スルト
 共ニ有ユル手段ヲ盡シ新陸宅ヲ奪取スヘシ

4. 第三大隊(第九第十中隊欠)ハ步兵第五十八聯隊第三大隊ト午
 後七時迄ニ交代シ左一線トナリ清水顧南端附近ヨリ須宅西
 側ニ亘ル間ヲ台領シ莊家橋宅方向ニ對シ敵情地形ヲ搜索シ
 爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

5. 戦闘地域ノ境界左ノ如シ

第一大隊第三大隊間北部朱三房北家橋宅金塚宅各南端ヲ
連ヌル線

左部隊ト第三大隊間朱宅西方三百米アリトノ屈開點新
俞宅ヲ連ヌル線

6 其他、各隊、任務變化ナシ

7 第三中隊一小隊第九第十中隊ハ豫備隊トナリ現在地ニ位置スヘシ

8 余ハ魔橋頭ニ在リ

聯 隊 長 添 田 大 佐

一 第一線大隊偵察ノ結果概テ敵情ヲ略明確ナルヲ得タルヲ以テ
前任者ヲ續行、夕メ現陣地ヲ確保シ更ニ前面ノ敵情地形ヲ搜索
シ出來得レハ本夜機ヲ見テ第一大隊ヲシテ新陸宅敵陣地ニ對
シ夜襲ヲ決行セシメントセシモ其好機ナク遂ヒニ不成功ニ終ル
依テ本夜、態勢別ニ變化ナシ

一明ケテ十月三十一日第一線大隊ハ前日ニ引續キ突撃ヲ諸準備ヲ
進メツツアリシモ午後一時頃旅團ヨリ新企圖ノタメ一部ヲ以テ
現在線ニ殘置シ主力ヲ徐家宅附近ニ集結ノ命ニ接ス
依テ各隊ニ左記命令ヲ下達シ兵力ノ集結ヲ命ス

步二六作命第三九號

聯隊命令

十月三十一日午後二時
於魔橋頭

1. 聯隊ハ一部ヲ現在ノ線及陳家行ニ亘ル間ヲ確保シ主力ハ新
企圖遂行ノタメ兵力ヲ後方陸家宅附近ニ集結セントス
2. 第一大隊ハ清水顧以北ニ步兵一中隊附一小隊ヲ殘置シ現在ノ
線ヲ確保シ主力ハ徐家宅附近ニ集結スヘシ
3. 第三大隊ハ清水顧西南端須宅西端陳家行西端ノ線ニ步兵
一中隊ト一小隊ヲ殘置シ該地ヲ確保セシメ主力ハ相家橋ニ集結スヘシ
4. 1Aハ現陣地ヲ撤シ村家頭ニ集結スヘシ

0783

5 其他ノ諸隊ハ現地ニ在リテ出發準備ヲ完了スヘシ
6 各隊ハ特ニ企圖ヲ秘匿スルコトニ萬遺憾ナキヲ期スヘシ
7 余ハ徐家宅ニアリ

各隊ハ午後三時頃ヨリ各々現在地出發新集結地ニ移動ニ午
後六時頃迄ニハ概ネ集結ヲ終ル

同日午後四時左記師團命令ニ接ス

一三師作命甲五三號

第十三師團命令

十月三十一日午後四時
於 陳 家 宅

1 師團ハ一部ヲ以テ敵陣地ノ右側背ヲ攻撃スルト共ニ主力ヲ

後方ニ集結シ新任務ニ就クノ準備ヲナサントス

2 沼田支隊ハ依然當面ノ敵ヲ攻撃シテ速ニ張涇ヲクリトクニ線

ニ進出スヘシ

獨立野戰重砲兵第四大隊ヲシテ其隊ノ戰鬪ニ協力セシム

三七

3 歩兵第百四聯隊 山砲兵第ニ大隊（一中隊欠）工兵一小隊ハ酸浦
 地區守備隊トナリ新木橋以南陳家行ニ亘ル線ヲ守備スヘシ
 特ニ重點ヲ右翼ニ保持スルヲ要ス
 地區内ニ於ケル他部隊トノ交代ハ明十一月一日午後四時マテニ
 完了スヘシ

4 爾餘ノ諸隊ハ明十一月一日午後六時迄ニ沼田支隊配屬及協
 力部隊ヲ除ク左ノ如ク兵力ヲ集結スヘシ

歩兵第二十六旅團司令部 歩兵第六十五聯隊地區内師團
 司令部 移動後陳家行ヲ使用セシム

歩兵第六十五聯隊王家橋劉家行陸家橋間ノ地區

歩兵第二十六旅團司令部 歩兵第二十六聯隊地區内歩兵第

一二六聯隊張家角、南宗宅林家宅太平橋間ノ地區

歩兵第五十八聯隊張家角朱宅沈家宅唐家濱陳家巷間

、地區

山砲兵第十九聯隊火燒場小朱宅嗇里金家灣無電臺
間、地區

野戰重砲兵第十聯隊第四中隊老樁宅附近獨立野戰重

砲兵第四大隊顧家宅張家宅吳家宅間、地區

工兵第十三聯隊沈陸王劉家宅姚家宅間、地區

輜重兵第十三聯隊南朱宅南朱宅、線以東、地區

衛生隊林家宅歸家街同西無名部落

野戰病院ハ現在地ニ在リテ速ニ傷者ヲ後送移管シ待機スヘシ

其細部ニ關シテハ師團軍醫部長ヲシテ指示セシム

於余ハ明後十一月二日正午東王宅ニ至ル

第十三師團長 荻洲立兵

右命令ニ基キ更ニ新集結地ニ向ヒ出發、夕メ左記命令ヲ下

0786

達ス

步二六作命第四七號

聯隊命令

五月一日午前九時三十分
於徐家宅聯隊本部

1 聯隊ハ第十三師作命第五三號ニ基キ新任務ニ就ク

準備ノ夕メ張家角南宗宅林家宅太平橋地區ニ兵力ヲ

集結セントス

2 各隊ハ午後一時迄ニ出發準備ヲ完了シ陸家宅陳家宅

小陸宅上海街道張家角道ヲ左記順序ニヨリ宿營地ニ向

ヒ前進スヘシ

左記

第三大隊 聯隊本部 步兵砲 第一大隊

但シ聯隊 步兵砲 聯隊機關銃ハ準備完了セバ直ニ出發スヘシ

3 各隊ハ左ノ如ク設營者ヲ午前十時出發先行セシムヘシ

0200

- 聯隊本部 准尉一 下士官一 兵一〇 衛生兵一
 各大隊 將校一
 各中砲隊 下士官一 兵一〇 衛生兵一
 4 各隊宿營地到着セハ設營者ノ指示ニヨリ露營スヘシ
 5 宿營地配宿區分ハ別ニ示ス
 6 露營日直將校巡察將校露營衛兵ノ割出ハ別表ノ通リトス
 7 各大隊ハ其宿營地内對空監視哨及對空部隊ヲ設ケ防空ニ任セシムヘシ
 8 各大隊ハ其宿營地内並ニ左ノ如ク外方ニ對シ警戒スヘシ
 第一大隊 張家角ヨリ蔡寧宅中央點線路ノ間
 第二大隊 左第一大隊ニ連絡シ姚家宅ノ間
 第三大隊 陳陸王 田都 村家宅ノ間
 9 各大隊ハ將校弁隊長以下四名ノヲ準備シ置クヘシ

10 第三中隊ノ一小隊ハ軍旗誘導ニ任シ第二大隊到着迄護衛ニ任スヘシ

11 通信班ハ聯隊本部ヲ基點トシ旅團司令部各大隊本部間ノ電話ヲ構成スヘシ

12 露營衛兵ニ關スル諸注意ハ從來ノ通りナリ

13 幕舎ノ偽裝又ハ夜間ノ焚火燈火ノ隱蔽特ニ注意スヘシ

14 師團司令部ハ東王宅ニ在リ

15 余ハ東部蔡寧宅ニ在リ

露營司令官 添田大佐

次テ午後一時徐家宅ヲ出發シ蔡寧宅ニ向フ

一 戰鬥ニ影響ヲ及ボセシ天候氣象

戦鬪期間	天候	戦鬪ニ關係セシ事項
十月二十一日	晴	<p>一 交戦間晴天ノ場合ハ毎日濃厚ナル朝雲ガ、夕メ射撃ニハ我レニ不利ヲ感シタルモ奇襲行動ニハ有利ナリ</p> <p>二 降雨時ハ朝夕一般ニ気温低下セシモ戦鬪上大シク影響ヲ認メス</p> <p>三 戦場附近ノ土質ハ粘土性ニシテ降雨ノ場合ニハ泥土ト化シ行動ヲ沮害セラレ奇襲的動作ニハ不利ナリ</p> <p>四 戦鬪ハ東(反軍)西(敵軍)相對シタル關係上晴天ノ場合ニ於ケル日中ハ午前太陽背ニシアリテ有利ナリシモ午後ハ太陽ニ向ヒ射撃上稍不利ヲ生セリ</p>
二十二日	晴	
二十三日	晴	
二十四日	晴	
二十五日	晴	
二十六日	晴	
二十七日	晴	
二十八日	晴	
二十九日	晴	
三十日	曇	
三十一日	雨	
十一月一日	雨	

一、戰鬪地、狀態

步兵第百十六聯隊、戰場地帶ハ比較的村落密集シアリ敵ハ屢、此、附近ニ於テ演習セル關係上附近ノ地理ニ明ルク之ニ對シ我軍ハ攻撃途中至ル處ニ「クリーク」ニ沮害セラレ且清水顧附近ハ地形高臺トナリ而モ半永久的堅固ナル障地ヲ構築シアリ地形ハ視界概シテ狹隘ナルヲ防禦上稍欠陥アルモ之ニ代フルニ「クリーク」ト言フ一大障害物ヲ有シタルヲ以テ敵ノ防禦上概シテ理想的ナル地形ト言ハサルヘカラス

之ニ反シ我軍ノ攻撃ニハ非常ニ困難ナル地形ナリト認ム

一、步兵第百十六聯隊ノ戰場地帶別紙要圖、如シ

一、彼我ノ兵力交戦セシ敵兵ノ團隊號及將帥ノ氏名我カ正面ニ於テル敵ノ將帥ハ不明ナルモ敵軍ニハ督戰隊ヲ有スル頗ル頑強ナル抵抗ヲナセリ

- 兵種ハ第十三師ヲ主力トシ予生軍並ニ假令軍ノ一部ノ混成隊ニシテ第一線ニ於ケル其兵力ハ約三千五百名ヲ下ラス且ニ攻固ニ且リ交代部隊ヲ有スル新鋭ナリ
- 一本戦闘間各種火器ノ効果ヲ綜合スルニ敵ニ與ヘシ損害約千五百ヲ下ラサルモノト認ム
- 一本戦闘間死傷表鹵獲表武器彈藥損耗表附表ノ如シ

孟家宅 附近戰鬥指導要領

十月二十二日
於徐家宅

一方針

聯隊ハ要圖ノ如ク突撃準備ヲ完了シ重點ヲ孟家宅ニ指向
シ先ツ孟家宅ヲ奪取續イテ清水顧新陸宅ノ陣地ヲ逐次攻
略シ新陸宅 花家橋宅ノ線ニ進出セントス

一 指導要領

第一項 孟家宅ニ重火器及砲兵ノ火力ヲ集中シ敵重火器及

側防火器ヲ制壓シ砲兵ノ清水顧射程延伸ト共ニ

IIヲシテ孟家宅ニ突撃セシム此際IIハ重火器ノ

大部ヲ以テIIノ突撃ヲ援助ヲナサシムIIIハ同時一部ヲ以テ

須宅西側ノ敵前進陣地ヲ奪取シ花家橋宅ノ敵ニ對

シ攻撃ヲ準備ス

第二項

清水顧ノ敵陣地ニ火カラ集中之ヲ制壓シ砲兵ノ
 花家橋宅ニ目標變換ト共ニII IIIヲシテ清水顧ニ突
 入セシム

第三項

II IIIノ主カラ以テ新陸宅ノ敵ヲ攻撃シIIIノ一部ヲ以
 テ花家橋宅ノ東方ヨリ攻撃シ主カハ爾後西南方ニ
 向ヒ花家橋宅ノ後方陣地ヲ側背ヨリ奪取ス

參考トナルヘキ所見

一 本戦闘ニ於テ軍用犬ヲ第一線ト後方ニ使用セルモ犬取扱兵其ノ者、
教育不充分ト大訓練、不充分ヨリ完ク効果ナク遂ニハ厄介視
スル如ク終リタリ 將來ハ特別教育完成セルモノニ非サレハ効果
ナキモノト認ム

一 上海附近、如キ至ル處「クリーク」アル地形ニ於テ戦闘スル場合ニハ
歩兵各大隊ニテ以上、浮囊舟ヲ支給シアレハ効果大ナルモノト認ム
其用途次、如シ

1. 斥候等、「クリーク」渡河

2. 部隊渡河ノ場合竹間單ナル架橋脚使用

3 河川ノ偵察

今次戦闘行動ノ際「クリーク」障碍ニ遭遇シ多大ノ時間ト兵力ヲ
消耗シタルコト屢マアリ

- 一 電話線ヲ得ムヲ得ス道路ヲ横切り架設スル場合ニハ夜間電話線ノ保護上電線ニ沿フテ夜光テ、
一 陣地戦ニ於テハ革靴 ヨリツツク製厚ゴム底(若クハ革底)ヲ使用スルヲ適當ト認ム
- 一 長期ノ行軍戦闘ニ於テ疲労甚タシキ場合ニハ現在ノ軍靴ニテハ手入モ十分實施出來サル現況ニテ改善スル必要ヲ認ム
- 一 兵器手入用油、木綿ヲ小行李積載品ニ定メラレ度シ
- 一 今次戦闘ニ於テ右支給品圓滑ナラサル結果兵器ノ手入十分ナラス
- 一 衛生隊(擔架隊)活動十分ナラス 戦闘行動ニ移ルヤ衛生隊ハ部隊ニ續行シ隊付衛生部員ハ專ラ第一線ニ出テ患者ノ收容及救護ニ任シ
- 一 衛生隊ハ第一線隊付衛生部員ヨリ傷者發生ノ狀況通報アルヤ適時適切ニ擔架隊ヲ第一線ニ前進セシメ直チニ患者ヲ收容スル

如クセラレタシ

今回、如キ複雑ナル陣地ニ於テ而モ困難ナル地形ト堅固ナル陣地ニ據リ頑強ニ抵抗セル夕ノ戦闘容易ニ進捗セス

同一場所ニ於テ十日間以上モ對戦シ戰場至ル處ニ多敷ノ死傷者ヲ生シ悲惨ナル狀況下ニ在リテ第一線部隊カ戦闘ヲ斷續シアルカ如キコトニテハ自然士氣上ニ及ホス悪影響大ナルモノアリト確認ス

一 聯隊本部ニ主計一 經理部下士官曹長若クハ軍曹級一ヲ増置セシメラレタシ

聯隊ニ於テ各大隊、經理、統率ニ是非必要ナリ

一 手榴彈ヲ  柄付式ニ改造セシメラレタシ

現在ノ制式ニテハ外國人ニ比較シテ臂力十分ナラサル日本人トシテハ投擲不十分ナルヲ以テ近迫戦闘ニ於テハ彼等ニ機先ヲ制セラル

コトアリ

一 歩兵ニ對シテハ現役時ニ於テ作業(新齊)ヲ尚一層徹底的教育訓練シ置クノ必要アリ

殊ニ端末作業法ノ如キハ之ヲ失念セルモノアリ

一 歩砲ノ協同ニ就テハ一層平素ヨリ訓練シ置クノ必要アリ

歩兵獨自ヲ以テ簡單ナル架橋作業ヲ實施シ得ル程度ノ教育ヲナシ置クノ要アリ

一 本陣地、如ク堅固ニシテ多數ノ重火器ヲ有スル敵ヲ攻撃スル敵陣地、特ニ第一線ノ敵情ヲ明ラカニシ綿密周到ナル攻撃計畫ヲ立テ各部隊ニ準備ノ餘祐ヲ與フルヲ要ス本情況急ヲ要スル場合トハ言ヒ下ラシ更ニ一日ノ餘祐ヲ與ヘテハ損害少クヨリ以上ノ效果ヲ收メシナラン

一 午後突撃セシ部隊ヲ翌拂曉更ニ統制アル突撃敢行要求スルニ

部隊、指揮掌握編成準備給養、補給氣力、回復等關係稍、
困難ナル狀況ニヤリ

一 砲撃爆撃ノ夕ノ二百米後方ニ位置シ射程延伸ト共ニ突撃前進スルコトハ實際不可能ナリ

一 突撃ニ當リ手榴彈ハ必要ナリ各人ニ分配スルモノハ散兵壕内掃蕩用トシ外ニ各小隊ニ手榴彈分隊ヲ編成シ第一回突撃並ニ陣内戦果擴張用ニ任セシムルヲ可トセン

一 陣地戦ハ輕装トスルヲ可トス

一 一回突撃セハ鐵條鉄圓匙、防毒面等器械忘却或ハ次期戦闘行動ニ支障ヲ來セシコト多シ相當多量ノ豫備ヲ集積シオクコト必要ナリMG LGノ補充亦然リ

一 第一線ノ糧食飲用水ノ補給ハ不十分ナリ

各隊ニ補給班ノ設ケアリシモ激戦ノ際指揮統御適確ヲ欠キ團

0799

滑ナラス後方ヨリノ補給亦然リ

一 幹部特ニ將校ハ部下ノ掌握統御ニノキ留意シ部下ノ自由行動

ヲ放任或ハ之ニ左右セラレサルヲ要ス

一 戦闘中又ハ戦闘後モ部下ノ絶ハス鼓舞激勵シ士氣ヲ旺盛ニ

スルト共ニ行動ヲ敏活ナラシムルコトヲ要ナリ

一 一般ニ兵ハ自己ニ支給セラレタル兵器被服物件ハ責任ヲ以テ

保管スル觀念ニ乏シ

一 傷者ニシテ第一線ヨリ後退シ且ニ直接野戦病院ニ到ルモノ

或ハ送致セラレ爾後調査ニ支障ヲ來セルコト大ナリ

一 馬匹ヲ前方ニ招致シ損害ヲ受タルコト多ク

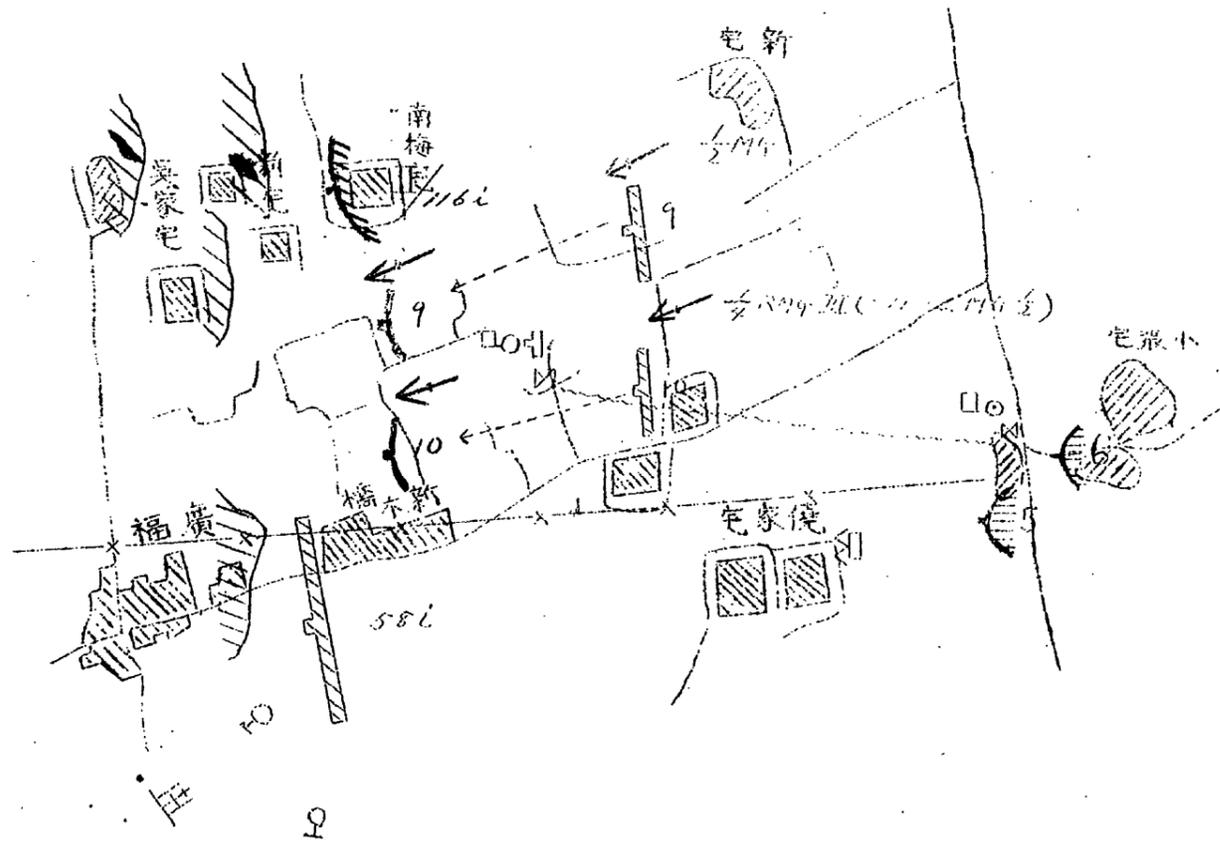
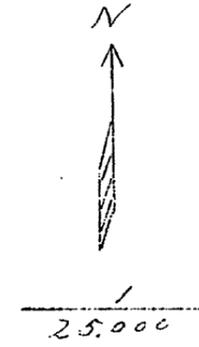
故ニ彈藥及糧食等補充ノタメ第一線近クニ招致スルハ已ムヲ

得ナル場合ノ外ハ夜間ヲ利用スルヲ可トス

一 一般ニ上司ヨリ命令下達遜キ感アリ聯隊モ亦然リ之カタメ

第一線ハ常ニ萬事不準備ニテ戦闘ヲ實行シタル感アリ

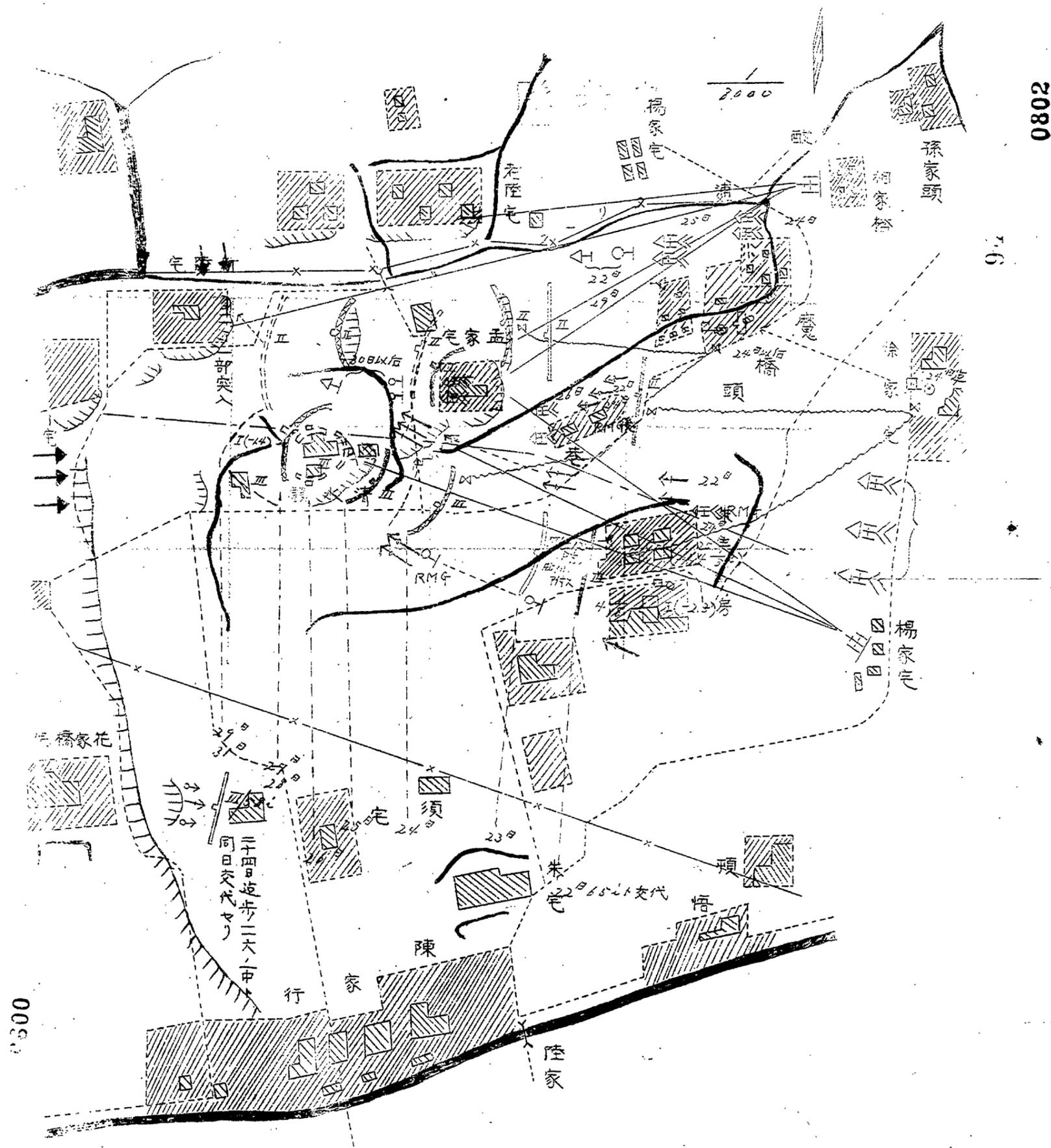
圖要勢態擊攻隊聯六十百第兵步近附宅家僥
(ル、於=時六後午日=十二月十)



90

0801

孟清水附近步兵第六十聯隊戰鬥經過要圖

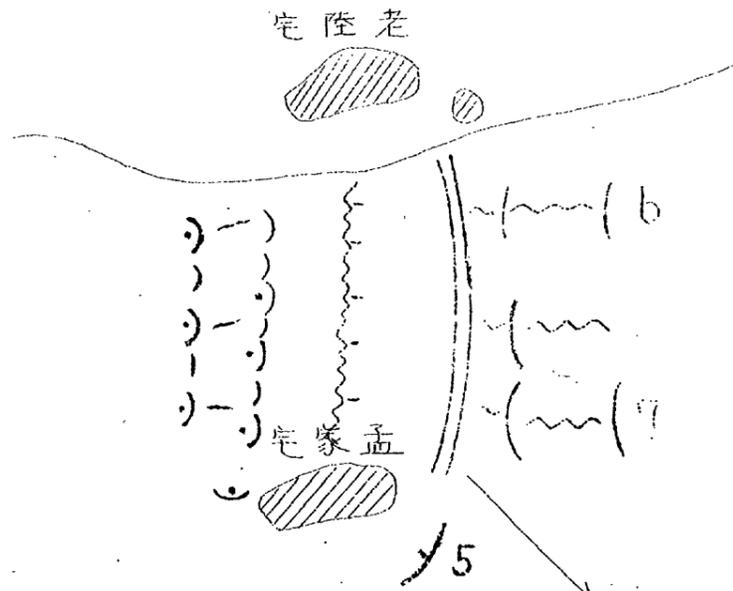


0802

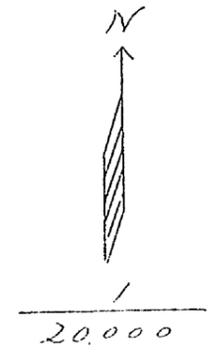
94

0300

圖要察偵地陣敵宅家孟尉少邊渡隊中一第隊聯三十第兵工
(ルケ於時ハ後午日三十月十)



一 戦車壕ニシテ中約三米
深一米五十ナルモ水ナシ
二 鉄條網ニ部破壊セラレアリ
三 外壕ニ至リ敵情ヲ見タルモ
敵ハ所々掩蓋下ニアリテ姿
ヲ見セス

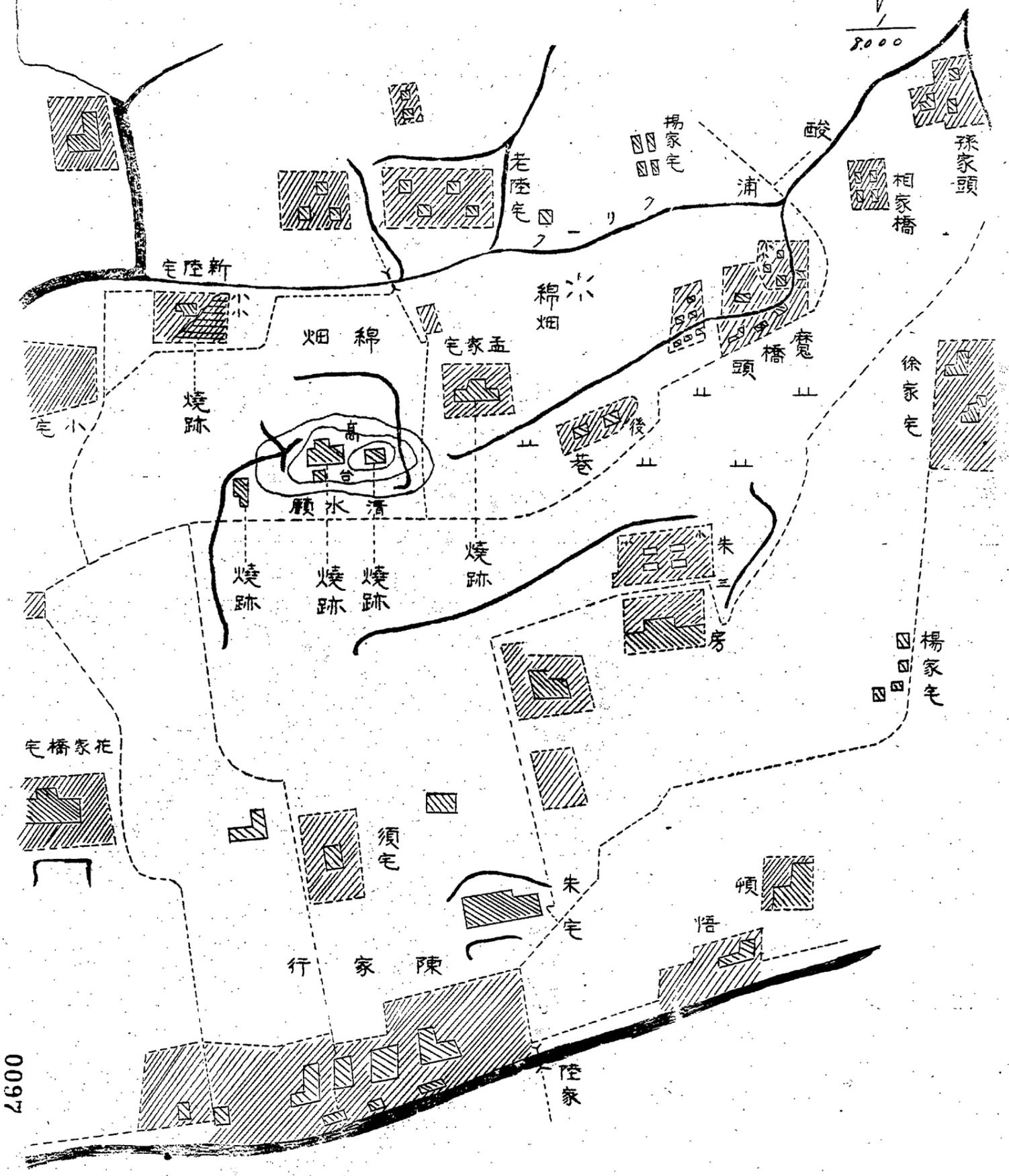


判決
今ヨリ外壕内岸ヲ占領シ突敵ヲ
進軍スルヲ要ス

孟家宅 清水顧
附近步兵第六十聯隊戰場地形一覽圖

0804

90



0097

戦闘詳報第二號附表

昭和十二年
自十月三十一日
至十一月一日

歩兵第百十六聯隊鹵獲表

備考	備	員数	種別		戦利品
			俘虜	戦利品	
	一 俘虜ハ全部戦闘中ナルヲ以テ之レヲ射殺セリ	二九	准士官 士官 兵	馬匹 小銃	
	一 戦利品一部ハ使用一部ハ使用ニ堪ヘズコクリークニ投棄セリ	一五六	小銃 實包 銃	輕機関 重機関 銃	
		三三〇			
		三五			
		九五	全彈 藥		
		二〇〇	手榴彈		

戦闘詳報第三號附表

昭和十二年
自十月二十一日
至十月三十一日
歩兵第百十六聯隊武器彈藥損耗表(甲)

備考	計	隊		聯隊本部	第一大隊	第二大隊	第三大隊	歩兵砲隊	聯隊機關銃中隊	聯隊砲隊	區分		種類	消	費	損	失	
		號	分															
田匙二角形雙眼鏡一八迫撃砲ノタメ破換ニ付遺棄ス 機關銃前挺二八迫撃砲ノタメ破換シ完ク使用ニ堪ヘラレニ付遺棄セリ	四二	九〇	小銃	九〇	三六	五四	五八					小銃	彈					
	二八	九九	機關銃						六三			機關銃	彈					
	〇〇	三〇	射撃									歩兵射撃	藥					
	五五	五五	射撃									歩兵射撃	藥					
	八四	五五	其他								小銃彈	其他	武					
	五〇	一八	小銃									小銃	武					
	一		機關銃									機關銃	武					
			騎銃									騎銃	武					
			射撃									歩兵射撃	器					
			射撃									歩兵射撃	器					
			小銃									小銃	彈					
			機關銃									機關銃	彈					
			射撃									歩兵射撃	藥					
			射撃									歩兵射撃	藥					
		二	角形雙眼鏡									角形雙眼鏡	其					
	一	田匙									田匙	武						
	二	刀									刀	器						